

- 平成28年2月13日（土）に『しまっちゃんぐワークショップ』を開催（参加者：約40名）
- ワークショップでは、民間企業の目線により、離島のビジョンや活性化プロジェクトを議論



自己紹介



ワークショップ



討議結果の発表



意見交換

「しまっちゃんぐワークショップ」を元に作成された参加離島のビジョン・プロジェクト一覧

1. 粟島（新潟県粟島浦村）

《ビジョン》

誰もが学びの主人公 ～自然の中で生きる力を育む島～

《プロジェクト》

○島民が島の資源プロジェクト

島民を島の魅力として、島民に会うことを来島の目的にする。370人の島民全員の写真で構成される「粟島島民日めくりカレンダー」の作成、「粟島島民全員名刺」等、島民にスポットを当てた島民が主役のプロジェクトを展開。島民名刺は全島民が所持し、観光客等が島民と名刺交換できる。多くの島民名刺を集めるためには何度も行かなくてはならない。

○島の暮らし体験テーマパーク化プロジェクト

子供が自己責任を持つような教育の実施。島留学生や訪問してきた子供達にも漁師体験等の職業体験を提供。

○粟島の特産品（海の幸、山の幸、民芸品）の販路拡大プロジェクト

今まで活用されていなかった生産物（特に自給目的の野菜や山菜等）を活用した商品開発と販路獲得。また島内流通がメインである水産物の販路拡大。大手のショッピングサイトへの特産品の売り出し等も一案。

○企業研修やインターンシップ誘致プロジェクト

夏の繁忙期以外に、企業研修やインターンシップを誘致して、島内での働き手の拡充とともに島での暮らしを体験してもらう。

○ホンダワラ（ぎんばそう）等の養殖プロジェクト

民宿等でも提供される海藻を養殖する技術を導入。

2. 佐渡島（新潟県佐渡市）

《ビジョン》

自分の人生をデザインできる島 ～夢を叶えに子ども達が帰ってくる島～

《プロジェクト》

○クラウドソーシングプロジェクト

創業支援チームを結成し、スタートアップ支援や新規事業者への優遇支援やベンチャーキャピタルの誘致、または空き家を活用した移住相談ステーションやコワーキングスペース等を設置。そのことにより、自分の人生を自分でデザインできる島としての環境を整備。

○人材育成プロジェクト

人材育成出来る人材を育成する。島内の世代間の交流の機会をつくり、地元について知る場とし、同時に郷土愛の醸成も期待できる。また、世界文化遺産登録の推進や東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致、都市との交流等を活用して異文化教育を実施。インバウンド対応人材の育成にもつなげる。

○佐渡産品の販路拡大プロジェクト

営業・流通に熟達した人材を誘致する等して、現在取り組み中の「サドメシラン」の新たな可能性の開拓。

3. 沖島（滋賀県 近江八幡市）

《ビジョン》

日本のへそ“琵琶湖” 琵琶湖のへそ“沖島” ～人と文化の交流拠点～

《プロジェクト》

○琵琶湖漁業の継承プロジェクト

漁師の「技」と「知恵」が琵琶湖を守る。漁業だけではなく琵琶湖の様々なことが分かる「守り人」の育成。
(琵琶湖の水質は漁業による水の攪拌があって維持される)
琵琶湖水産物の6次産業化。

○魅力発信プロジェクト

沖島ファンクラブ、会報誌、手ぬぐい等の製造

○「定住」だけではない！「通える島」PRプロジェクト

対岸から約10分。京都からも約1時間。通勤できる島としてPRし新たな雇用を創出。定住を目標としない人の流れを創出。

4. 大崎上島（広島県 大崎上島町）

《ビジョン》

知識と技術の羅針盤が示すポラリス、大崎上島。

《プロジェクト》

○海景色が映える町活性化プロジェクト

大崎上島は造船技術とともに発達した島。船が北極星を目指す如く、我が島には多様な教育機関や技術が集まっている。交渉次第では島の技術を活用してオーダーメイドの加工用製品も。島のブルーベリーやレモン等、様々な農産物を使って、島の海景色を更に明るく照らす灯台たる企業を募集。

○企業CSR・研修誘致プロジェクト

大崎上島は瀬戸内海に浮かぶ温暖な島。内海のため、航路も安定しており、職員を派遣するには最適。島には権伝馬というチームワークを生むには最適の伝統文化が残る。職員研修だけで無く、島の伝統文化を継承させる取組に賛同する企業を望む。

○イノシシ活用プロジェクト

全国で問題となる有害鳥獣被害。大崎上島も例外ではない。特にイノシシの被害は甚大だ。しかし大崎上島のイノシシは、元来飼育されていたもので、他の地域のイノシシと比べて肉質が良いとの噂も。痛みやすいイノシシ肉も安定した広島、今治への航路を誇る我が島であれば、販路先も獲得しやすい。島のイノシシを活用し、大崎上島の特産珍品として、売り出したい。

5. 高井神島、魚島、弓削島、佐島、生名島、岩城島、赤穂根島（愛媛県上島町）

《ビジョン》

島民みんなが走り回る島 ～島民の元気が元気な人をひきつける～

《プロジェクト》

○異業種ハッカソンによる多様な移住・定住モデルの構築プロジェクト

企業の人材育成の機会を活用。異業種の人材が集まりチームを組んで、上島町を舞台とした地域課題解決プロジェクトを実施。特に、離島での新しい働き方や暮らし方の提案、移住・定住モデルの構築に取り組んでもらう。企業にとっては異業種交流による支店の多様化や将来の幹部候補生の育成の場となる。北海道の美瑛町でヤフー等の5社と協力して実践しているモデルの応用。

○都会で学んだ知識・技術が活用できる島づくりプロジェクト

光ネットワークの整備や空き家を活用したサテライトオフィスの整備とスタートアップ支援や新規事業者への優遇支援（税制優遇等）により、様々な人材が島で仕事を始めやすい環境を整える。IT人材やアーティストがターゲットとして可能性が高い。

○子育てしながら女性が活躍しやすい島づくりプロジェクト

光ネットワークの整備により家庭で家事や子育てをしながら仕事を可能に。地域全体で安心・安全な子育て環境（信号ゼロ、交通死亡事故10年以上ゼロの実績（事故自体もほとんどなし））。
妊活施設の誘致や妊活ツアーの誘致。

○元気な島民が島の魅力プロジェクト

とても活発なおばあちゃん、活躍している女性、バリバリ生き生き働く若者など、元気な島民を島のPRに活用することで、元気な人を惹きつける。

6. 地島、大島（福岡県宗像市）

《ビジョン》

「神宿る島、宗像大島」～世界遺産を契機に地域経済循環を拡大～

《プロジェクト》

○クロアナゴの島プロジェクト

インパクトのあるクロアナゴを活かして「クロアナゴの島」として売り出す。宿泊を伴わない観光でもクロアナゴで島内消費を狙う。

○インバウンド誘致プロジェクト

世界遺産登録がされる予定であり、外国人観光客の誘致を狙う。
オプションツアーの創出で島内滞在時間及び消費の拡大。

7.中通島、頭ヶ島、桐ノ小島、若松島、日島、有福島、漁生浦島（長崎県新上五島町）

《ビジョン》

子どもが誇れる島 ～海の資源を活かした自立した島～

《プロジェクト名》

○未利用魚活用プロジェクト

魚のサイズが不揃い、ロットがまとまらない等、非食用として取り扱われたり、低価格でしか評価されない状況にある「未利用魚」を活用する方法を考え、魚価向上及び漁家経営の改善を図る。そこで、下記のようなアイデア、展開を企画段階から連携して取り組める企業とのマッチングを図りたい。

例：加工品の開発、未利用魚の販路確保（直接、居酒屋等に売り込むような戦略）等

○ITを活用した島外販売促進プロジェクト

鮮魚（生鮮・冷凍もの）の流通において、島内で統一した販売戦略をつくることで、五島の魚のブランド力向上に繋げる。そこで、生産者等が不得意なインターネット対策において、統一したブランディングを図るため、企画段階から連携して取り組める企業とのマッチングを図りたい。

例：鮮魚流通分野の受注者のプラットフォーム・システムなどを提供している企業と連携し、販売戦略の企画段階からの連携を図る。YouTube や Instagram などを活用し、上五島の特産品、風景等を PR するための映像制作。

○マリンレジャー開発プロジェクト

ダイビングや釣りなど、海を活用したレジャーを開発し、休漁期の漁業者や、ゲストハウスなどの宿泊施設との連携を図りながら、新たな産業の創出を図る。そこで、レジャー開発等の企画段階からの連携して取り組める企業とのマッチングを図りたい。

例：上五島は幅広い魚種が見られ、ダイビングスポットとして、年間を通して楽しむことが出来る。また、釣り人の聖地として遠方から釣りをしに旅行客が訪れるなど、魅力的な環境が整っている。そこで、海業ツアーの造成を企画する。